

略 年 譜

西暦	年号	干支	年齢	亜欧堂田善	美術・一般関連事項
1797	寛政9	丁巳	50	松平定信「退閑雑記」著す。	
1798	寛政10	戊午	51	松平定信より江戸の白河藩邸に出府するように命じられる。この頃「銅版下絵曳馬図帖」を制作する。この作品はドイツの銅版画家ヨハン・エリアス・リーディングの「銅版諸国馬画集」を模写したものと考えられる。	
1799	寛政11	己未	52	須賀川に白河藩校の第二敷教舎できる。	司馬江漢「西洋画談」を著し、銅版画創製についてふれる。
1800	寛政12	庚申	53	松平定信編纂の「集古十種」できる。	伊能忠敬、蝦夷地測量。
1801	享和元	辛酉	54	この頃司馬江漢に西洋画を学ぶ。	
1802	享和2	壬戌	55	絵馬「洋人曳馬図」を東堂山満福寺（福島県小野町）に奉納する。	
1805	文化2	乙丑	58	年紀所見の銅版画「驪山比翼塚」を制作する。	若杉五十八没す。(47歳)
1807	文化4	丁卯	60	銅版画「多賀城碑」を制作する。 幕府天文方の高橋景保らに世界地図制作が命ぜられる。	
1808	文化5	戊辰	61	宇田川玄真編「医範提綱」の附図「医範提綱内象銅版図」を制作する。扉絵は弟子の新井令恭が担当する。	間宮林蔵ら樺太探検。
1809	文化6	己巳	62	銅版画「新鑄総界全図」「日本辺界略図」を制作する。 銅版画「ゼルマニア廓中之図」「河豚図」を制作する。	月僊没す。(69歳)
1810	文化7	庚午	63	銅版画「新訂万国全図」完成する。 絵馬「佃島之図」を諏訪明神（須賀川市諏訪町）に奉納。 (明治24年焼失)	森嶋中良没す。(55歳)
1812	文化9	壬申	65	松平定信、家督を定永にゆずり、楽翁と号す。 田善この年から文化13年までの間に郷里須賀川に帰る。	
1813	文化10	癸酉	66	石井雨考、大隈滝（須賀川市・玉川村の境を流れる阿武隈川にかかる現在の乙字ヶ滝）に芭蕉翁の句碑を建立する。	
1814	文化11	甲戌	67	石井雨考の著した句集「青かげ」の挿絵に、銅版画「陸奥国石川郡大隈瀧芭蕉翁碑之図」を制作する。 市原多代女が序文を書く。	
1815	文化12	乙亥	68		杉田玄白「蘭学事始」を著す。
1816	文化13	丙子	69	絹本彩色「大隈滝之図」を制作する。	
1817	文化14	丁丑	70		杉田玄白没す。(85歳)
1818	文政元	戊寅	71	門人の遠藤香村に油絵具の法を伝える。	司馬江漢没す。(72歳) 伊能忠敬没す。(74歳)
1822	文政5	壬午	75	郷里須賀川で没す(5月7日)。長祿寺に葬られ「一翁如旦居士」の法名がおくられる。	田善の門人遠藤田一「亜欧堂田善像」を制作。
1827	文政10	丁亥			石井雨考没す。(79歳)
1829	文政12	己丑			松平定信没す。(72歳)
1840	天保11	庚子			谷文晁没す。(78歳)